

一般質問

関係機関と協議したい。

学校での心肺蘇生教育の普及促進

問 児童生徒・教職員の心肺蘇生とAED教育は、安全な学校環境に必要と考えるが、現状を聞きたい。

答 AEDは全ての小・中・特別支援学校に設置しており、教育委員会では危機管理の面からも、児童生徒の発達段階に応じた心肺蘇生教育などの学習の充実と教職員にも研修会の充実を図りたいと考える。

合は療育機関を紹介している。

再発言 支援の充実、幼児ことばの教室の設置を要望する。

本館解体の市庁舎整備（案）に様々な識者からも意見

問 近代化遺産の広報戦略と矛盾するとの意見がある。

文化財としての価値を論議しない進め方が問われているのではないかと。

答 必要な機能や将来負担等を考え、総合的に判断した。

再発言 今後のまちづくりを見据えて進めていかれたい。

さ、市の財政負担増等がある。

預かり時間延長は、重要な取り組みであると認識していることから、全市一斉実施が難しい場合は、実施可能な施設・内容で、モデル的に実施することも選択肢の一つとして検討を進めていきたい。

再発言 子育て期に不安を抱える保護者は多い。子育て支援としてだけでなく、働き手の確保という面でも重要な取り組みであるとする。できるだけ早く利用時間の延長を実施されるよう要望する。



新たなごみ処理施設整備

問 新たなごみ処理施設の建設に向けては、今後も大牟田・荒尾清掃施設組合の枠組みで取り組んでいくのか。

答 今後も大牟田市と荒尾市の両市がさらなる連携を図り、一致協力し広域的な燃えるごみの処理に取り組んでいきたいと考えている。

令和2年4月以降の動物愛護の取り組み

問 飼い主不在の犬猫の愛護活動者への支援は今後どのように考えているのか。

答 保健所の設置主体変更で、収容した犬猫の返還や譲渡は県が取り組むが、殺処分ゼロの取り組みが継承されるよう



3歳児健診の視力検査は重要 幼児ことばの教室も開設を

問 3歳児健診の視力検査はどのように行われているか。

答 まず自宅で検査し、結果を健診時に持参してもらう。

問 厚労省は、「目の機能は6歳までに完成し、3歳児健診で異常が見逃され治療が遅れると視力が十分回復しない。」と、検査の重要性の周知を求めている。本市の対応は。

答 3歳児歯科健診の保健指導の中で行っているが、さらなる周知を図っていきたい。

問 幼児期の発音や聞こえなど、言葉に心配がある場合の相談や支援の仕組みは。

答 「ことばとこころの相談」を実施し、関係各課で連携を図りながら支援し、必要な場



学校再編

問 適正規模・適正配置という観点だけでなく、まちづくりの観点を踏まえた学校再編について、考えを聞きたい。

答 まちづくりの観点を含め、地域説明会等でいただいた意見等を参考とした上で、行政として総合的に判断していきたいと考えている。

学童保育所・クラブの充実

問 利用時間の延長について検討状況は。

また、実施に向けた課題は。

答 アンケート等で一定の利用意向が確認されている。

課題としては、支援員への影響や新たな人員確保の難し